

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:平成 30年 3月 日

事業所名 がまごおり・こどもデイサービス

保護者等数(児童数) 20名 回収数 19名 割合 95 %

	チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	16	2		1		活動の内容により、会館内の広い部屋を利用するなど工夫をします。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	18	1			職員の方によって、対応にばらつきがあるように感じます	支援計画を職員間で周知して対応の統一に努めます。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境*1になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	18				1	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	16	3			少し狭いような気がします。夏場はエアコンが効きすぎで空調が少し心配な時があります。気が散らないよう工夫があり、とても勉強になります。	活動の内容により、会館内の広い部屋を利用するなど工夫をします。窓の開閉と衣類の調節をこまめに行い、快適に過ごせるように心がけます。
適切な支援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、 <u>児童発達支援計画*2</u> が作成されているか	19					
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	19					
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	19				毎月、個別に一緒に計画をしていただき家族も連携がとりやすい。	今後も継続して行っていきます。
	8 <u>活動プログラム*3</u> が固定化しないよう工夫されているか	18				1 私たちの意見を取り入れて家具の配置を変えてくれたりする。目的を分かりやすく説明してもらえのありがたい。	色々な職員の意見を取り入れて、今後も活動を設定していきます。
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	14	2	2	1	交流保育に参加や保育園と併用している人は機会があるが他の子は機会がない。親が希望すれば交流に行ける。	市からの情報をこまめに伝え、お母さん達からの意見もしに伝えていきます。
	10 運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	19					
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明がなされたか	19					
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング*4等)が行われているか	11	5	2	1	親からの相談や話に適切な意見を教えてくれる。勉強会の案内など知らせがくる。	家族支援は今後も継続していきます。ペアレントトレーニング等は要望を伺い、開催できるように日程調整など努めていきたいです。
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	18	1				

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	19				いつでも相談しやすいように案内していただいている（連絡帳に相談や話をしたい項目がある）とても丁寧に親身に相談にのってくださり、日々の心配事や不安が少なくなるように助言や対策など考えてくれて本当にありがたい。	引き続き保護者からの相談に迅速に対応し、相談しやすい環境づくりに努めています。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	11	2	1	5	保護者のみの集まりはありませんが、普段から先生方を中心に話せる機会があるので、問題ないと思う。卒業、入学について保護者の人と話し合い場所がある。	独立した父母の会はありませんが、必要に応じて茶話会等の機会を持っています。茶話会の回数を増やすなどをしていきます。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	18				1		
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	18	1					
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	12	2	2	3			今回の評価の結果をホームページ等で保護者にお伝えしていきます。
	19	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	16	1	1	1	1	聞こえている所で名指して話をしたり、許可していないのに話してしまう事が多々ある。	取り扱いについては十分に注意しておりますが、今後もより一層の注意を払っていきます。
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか。	17	2					
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	19						
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	17	1	1		大きな変化があった。親子共に前を向く事が出来た。週2日と月1回のアフターに通っていますが本人が自主的、意欲的に活動に参加したくて「今度デイサービスに行けるのはいつ」と楽しみにしている。	今後も楽しく通所が出来る施設になるよう心がけていきます。	
	23	事業所の支援に満足しているか	19				感謝の気持ちでいっぱい。学校の通学への希望も出てきた。信頼できる先生方で子どもも母の私もデイサービスに巡り合えて本当に良かったと思っている。何度も先生方の助言に救われて感謝の気持ちでいっぱい。	満足していただけるように今後も保護者と協力しながら努力をしていきます。	

*1 この部屋で何をするのかを示せるように、机や本棚の配置など、子ども本人にわかりやすくすること。

*2 児童発達支援を利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*3 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせられて実施されることが想定されている。

*4 保護者が子どもの行動を観察して障がいの特性を理解したり、障がいの特性を踏まえた褒め方等を学ぶこと。子どもが適切な行動を獲得することを目標としている。